

北海道釧路湖陵高等学校 平成29年度学校評価(定時制)

【評価の尺度】 A:とてもそう思う(4) B:そう思う(3) C:そう思わない(2) D:まったくそう思わない(1)

	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	評価項目		中間評価		年度末評価	
教育目標	学習指導	1 生徒個々の実態に即した多様性ある学習活動を保障する教育課程の編成 2 生徒の学習意欲を向上させる授業のあり方に関する研修の促進 3 新学習指導要領を見通した学習指導の研究と改善	1 ベーシックスタディの効果的な実施及び三修制実施に向けた準備 2 公開授業と校内研修の実効ある実施と校外研修への積極的な参加 3 校外研修の実施と校内への確実な情報の環流	1 全校体制による計画と実施及び生徒の実態に即した改善 2 明確なテーマを設定した研修の実施と研修成果の共有 3 大きな変化が予想される、地歴公民の科目や理数探究を中心にした研究	1 生徒の実態や保護者・地域の要望を取り入れた教育課程が編成されている。		3		3.3	3.1
					2 アクティブラーニングの手法を取り入れるなど、生徒の学習意欲を向上させる授業が実践されている。		2.9	3	2.8	
					3 公開授業や校内研修などによる授業改善や生徒の学習状況を把握した適切な評価に努めている。		3		3.3	
	生徒指導	1 生徒の主体性を育てる時間をかけた粘り強い指導 2 生徒の人権感覚・自己肯定感と他者尊重の意識の伸長 3 部活動を中心とした校外活動を通じた社会体験の獲得	1 生徒に考えさせる指導を通じた主体性の育成 2 他者を尊重し、いじめを許さない態度の育成 3 生徒の参加意欲を喚起するあり方の工夫	1 生徒会活動を中心とした、生徒が主体的に活動する場面の保証と見守り 2 いじめ防止をはじめとする人権感覚及びネットリテラシーの望ましい定着 3 部活動の参加生徒の増加と生活体験発表等の積極的な参加の継続	4 全教職員の共通理解と共通実践によって生徒の主体性を育成できている。		3.3		3.1	3.3
					5 いじめの防止やネットリテラシーの望ましい指導を行っている。		3	3.2	3.5	
					6 様々な活動を通じて社会体験の獲得を図る指導が行われている。		3.4		3.4	
	進路指導	1 計画的・組織的な進路指導を通じた、進路に対する生徒の積極性の育成 2 説明会や就業体験等への積極的な参加を通じた、進路実現に対する生徒の意欲向上 3 在学中の就業と進路との効果的な関係形成	1 進路のしおりの更なる活用と内容の改善 2 生徒への計画的な情報提供と適切な支援による、4年間を効果的に活用した就業体験の積み重ね 3 就業先との連携と情報交換の推進	1 全職員による取組内容に関する深い理解の形成と各学年段階での指導ポイントの整理 2 生徒個々の実態の理解に基づいた指導計画の立案と組織的な指導体制の構築 3 就業先への訪問等の連携方策の模索	7 全職員による計画的・組織的な進路指導が行われている。		3.4		3.4	3.7
					8 職業体験や説明会への参加などを促し進路実現に向けた生徒の意欲向上を図る指導が行われている。		3.9	3.7	4	
					9 外部機関や企業との連携・協力による進路指導が行われている。		3.9		3.8	
	健康安全指導	1 学校生活に困難を抱える生徒の早期発見と組織的対応 2 釧路の地域特性を踏まえた、自然災害に対する危機管理体制の徹底	1 全職員が連携した多角的な生徒情報収集と生徒・保護者への適切な支援 2 防災・減災を踏まえたマニュアルの点検と訓練の改善	1 職員全体での情報共有と外部機関との効果的・継続的な連携 2 防災計画・危機管理マニュアルの点検と効果的な訓練に向けた改善	10 学校生活に困難を抱える生徒へ組織的な対応が行われている。		3.3	3.3	3.3	3.4
					11 災害などの危機管理体制が図られている。		3.3		3.4	
学校運営	信頼される学校づくり	1 適切な学校評価と着実な改善 2 地域との様々な連携の広まりと情報発信 3 PTA・同窓会との連携	1 評価項目の重点化とスケジュールを定めた改善の実施 2 進路指導を視野に入れた地域の企業との連携の推進 3 百周年に向けた体制構築	1 重点を絞った評価項目の設定と学校課題の明確化 2 企業や経済団体等との交流の推進 3 組織体制の確立と人材の確保	12 学校課題を明確化にし、改善に向けて組織的に取り組んでいる。		3.1	2.9	3.1	3
					13 地域と連携した教育活動が行われている。		2.8		3	
					14 PTA・同窓会との連携が図られている。		2.9		2.9	
	組織運営	1 分掌・担任等の適切な役割分担と協働 2 職員の情報共有と組織的な業務遂行	1 学校全体を俯瞰した業務分担と協働 2 分掌間・分掌と学年間の連携強化	1 今年度から変更した分掌体制の効果的な業務分担 2 カリキュラム委員会・サポート会議等の一層の充実と課題の明確化	15 適切な役割分担と協働体制が確立されている。		2.6	3.1	3	3.3
					16 職員の情報共有や分掌・学年などの連携が図られている。		3.5		3.5	
	教職員の資質向上	1 授業改善に向けた研修の継続と実践 2 教育相談や発達障害に関する全職員のスキルアップ	1 実効性ある校内研修の確立と積極的な校外研修 2 外部機関とも連携した研修の推進と全職員による成果の共有	1 教科の違いを超えた共通テーマに基づく研修・考查問題の改善に向けた取組 2 特別支援学校との更なる連携強化と校外研修への積極的な参加	17 教科指導力向上に向けた研修、考查問題改善への取り組みが図られている。		2.8	2.7	2.8	2.8
					18 教育相談や発達障がいに関する全職員のスキルアップが図られている。		2.5		2.8	